



2024年10月現在

①スポーツを楽しむ機会の拡充

②心身ともに健全な人材の育成

③社会包摂と平和の促進

全世界(1965年～)
JICA海外協力隊(体育・スポーツ)
51カ国に20職種で161名を派遣中

全世界(2024年～)
課題別研修
「スポーツ行政/スポーツ振興」

南スーダン(2019年～)
スポーツを通じた
平和促進プロジェクト

ラオス(2022年～)
国別研修
「スタジアム運営維持管理」

ベトナム(2022年～)
「こけないからだ体操」
を通じた介護予防事業の支援

ボリビア
(2022年～)
スポGOMI大会
「DEPORSURA」

ペルー(2022年～)
障害児スポーツ指導力強化
および普及促進プロジェクト

ウガンダ
(2022年～)
女子サッカー大会
「TICAD CUP」

タンザニア(2017年～)
女子陸上競技会「Ladies First」
個別専門家「スポーツと開発」

カンボジア(2021年～)
小学校から高等学校まで一貫した
高い質で学ぶ「Physical
Education for All」プロジェクト

2024年3月末時点

- ◆ これまで体育及び28競技(職種)で90カ国に4,919人を派遣
(JICA海外協力隊総派遣数の約1割を占める)
- ◆ 隊員が指導したオリンピック・パラリンピック出場選手は
延べ133名(チーム含む)、獲得したメダルは8個
(1988年ソウル大会以降)

職種別派遣実績

※上位8職種

体育	1,556人
野球	706人
柔道	544人
バレーボール	314人
水泳	241人
サッカー	189人
卓球	174人
体操競技	169人

地域別派遣実績

アジア地域	21カ国	1,504人
大洋州地域	10カ国	270人
中東地域	6カ国	463人
欧州地域	6カ国	148人
アフリカ地域	23カ国	915人
中南米地域	23カ国	1,619人

2024年10月現在

- ◆ 「知識・技能・態度・協調性」が身に付く新しい体育を普及
- ◆ 策定した学習指導要領及び指導書が教育大臣から認定

NGOハート・オブ・ゴールドによる取組



	プロジェクト	成果
小学校	2006～16年 JICA草の根技術協力事業 (フェーズ1～3)	学習指導要領及び指導書の策定 全国共通の授業プログラム開発 普及体制の確立
中学校	2015～16年 Sport For Tomorrow助成事業 2017～20年 JICA草の根技術協力事業	
高等学校	2021～25年 JICA草の根技術協力事業	
大学 (教員養成校)	2019年～ 外務省日本NGO連携無償資金協力	2年制から4年制への移行 施設及びカリキュラム等の整備

2024年10月現在

- ◆ タンザニア初の女子陸上競技大会
- ◆ 2017年から計5回開催、第5回大会は約1,700人が参加
- ◆ 参加選手2名がパリ2024オリンピック大会に出場

